



# 小さな合併の成果を問う!?

## (第6弾)

### 江 寄 悟 議員

## 施策の大綱 「教育の未来について」

**議員** 私は、合併して、この10年間でどのように氷川町が住みやすく、住民主役の町に変革していったかをスケジュールに沿って検証しています。今回は、「教育の未来について」をテーマとして小さな合併の成果をお伺いします。

**町民環境課長** 保育事業で、待機児童が出ないようになっています。また、延長保育や一時預かりも実施しています。学童保育では、130名の児童が利用しています。

**健康福祉課長** 障がい児タイムケア事業で8人の一時預かりを実施。児童医療費助成は、疾病の早期治療に役立っています。母子保健事業では、13名

の母子保健推進員さんが活動されています。

**議員** 子どもの心と体を鍛える教育環境の充実についての成果はどうですか。

**学校教育課長** 基礎学力向上のため小中学校で加配教諭によるきめ細やかな授業を行っています。中学校に教育相談員を配置して不登校や悩みの相談に応じています。また、学校運営協議会で地域住民代表者と一緒に学校づくりを行っています。

**生涯学習課長** 立神峡での宿泊通学体験を6年生を対象に実施しています。3名の地域教育コーディネーターを配置し、地域とともにある学校づくりを行っています。

**議員** 私は、議員になって6年間、小中高一貫教育を提唱してきましたが、小中連携として、加配の中学教諭を小学校の教壇で英語や数学を教えて頂ければ、小中学校の一貫教育や連携になるのではないのでしょうか。

**教育長** 県費負担の中学校の先生は、中学校でしか、教えられませんが、是非、そのようなことも今後、検討しなければならぬと思います。

**議員** 地域づくりと一体となった教育環境づくりの進捗状況はどうですか。

**生涯学習課長** 子ども会では、桜っ子クラブで自主的活動を進めています。ジュニアリーダー会員数は22名で親に頼らない運営ができています。北海道大空町に中学2年生を

## 平成27年度の 施政方針について

**議員** 平成27年度の施政方針をお聞きし、「ふるさとの未来を拓く実行の年」とし、優先順位を厳しく査定し、メリハリのある予算を組んだとの説明がありました。その施政方針について伺います。

**町長** 私の2期目の4年

対象に研修事業を実施しています。生涯学習講座では、ふれあい大学のほか、各種講座を実施しています。

**議員** 振興計画の「教育の未来」についてこの10年間の成果についての総括として、どのように感じておられますか。

**町長** 総括として一口では難しいが、国や県の基準をクリアした事業が行われています。町独自の事業も行い、及第点だと感じています。

についてお伺いします。

**町民環境課長** すこやか赤ちゃん出産祝金は、誕生を祝福して1子から3子まで10万円、4子に30万円、5子以降は50万円の祝い金を支給するものです。

**企画財政課長** 定住自立圏形成は、八代市と共生ビジョンを策定し、両市町の各分野で協力して事業に取り組むものです。また、国の指示によりまち・ひと・しごと創生に関する基本的計画や人口ビジョン策定行い、地方創生に繋げていくものです。

**議員** 私は、すこやか赤ちゃん祝金は反対です。1千万円の予算を使って、誕生おめでとう「はい、10万円」やります。このようなことを町民のみなさんは、望んでおられないと思います。子供を保育に出せば、お母さんやお父さんたちは仕事ができる。子どもを育てていける環境を作る。それが、町長のやるべき施策です。

**町長** 結婚、出産、子育てといった一連の中での出産祝い金で、出生率を高めていかなければなりません。そのお手伝いになればと思っています。